

Agora

"AGORA"とは、ギリシャ語で"広場"という意味です。

写真で教員の研究を
楽しく紹介するコーナー

ふあんたすていっく!

台湾研究の面白さ

欧巴桑、欧吉桑、運将。日本人にとって一見して読めない漢字だが、台湾語で発音すると、理解しない日本人はいないはずだ。正解は、「欧巴桑(おばさん)」、「欧吉桑(おじさん)」、「運将(うんちゃん)」。漢字は当て字。このような日本語式台湾語が他にも沢山存在する。台湾では近年、これらの言葉を標準語の北京語と混ぜて使うことは普通になったし、時にはネタとして活用されてもいる。

台湾の歴史に少し詳しい方は、このちゃんぽんの言語現象ができた理由について、すぐ60年前の日本統治を想起するだろう。1895年から1945年までの長い統治期に日本語教育が定着し、特に1937年以降戦争の激化に伴って皇民化教育が強制された結果、終戦後も「自分は日本人」という自己認識を持つ台湾人は少なくなかった。

一方、上記の言葉表現は戦前の日本語から影響を受けたとはいえ、実際に市民権を得たのは、いつなのか。実はつい最近20世紀の末頃だった。戦後、国民党政府の徹底した脱植民地教育の下に、日本語が禁じられるのみならず、戒厳令と一元的な北京語教育の実施により台湾語さえも公の場から姿を消してしまった。ようやく1970年代になって、国民党政権は外交関係の一連の失敗を契機に「台湾ナショナリズム」という土着志向が高まり、そして1989年戒厳令の解除により、これまで方言として蔑視された台湾語は堂々と公の場に登場することができた。

よく考えると、日本統治時代を経なければ、その後台湾の歴史にはそれほど大きな波紋を呼ぶことはなかった。日本と台湾の文化的な連動関係は終戦とともに解消されたのではなく、むしろ植民地政権が撤退してからも、実体として存在し続けているのだ。この台湾社会の複雑な文化現象を、日本・台湾双方の知識人の言説をとおして考察することが、私の研究テーマである。

人間文化学科 講師 許時嘉
(東アジア比較文化史)



台湾B級グルメの定番のひとつ——「黒輪」。でも「黒い輪」ってどんな食べ物?! 正解は「おでん」。漢字は当て字で、台湾語で「オーレン」と発音するのだ。
(出典: <http://www.pcdvd.com.tw/showthread.php?t=1042509>)



中古で入手した貴重な台湾映画『多桑(父さん)』(1994年、呉念真監督)。戦後台湾における日本語世代のナショナル・アイデンティティを描いている。「多桑」ももちろん、当て字。



単著『明治日本の文明言説とその変容』(日本経済評論社、2014年11月)。副題を入れるとすれば、「植民地台湾の統治実態との連動」というフレーズがふさわしいだろう。



山形大学人文学部
facebookページ
ぜひご覧ください。



人文学部 @LINE 開設しました!



人文学部附属研究所が3つになりました!

人文学部長
北川 忠明



このたび、人文学部では、ナスカ研究所に続いて、映像文化研究所とやまがた地域社会研究所を設置しました。

人文学部は人文・社会科学系の多様な専門領域の教育研究を行う学際的・総合的学部ですが、人文学部の魅力はこの多様性や



人文学部1号館

総合性だけにあるものではありません。すでに世界的に評価されているナスカ地上絵研究グループは言うまでもありませんが、山形国際ドキュメンタリー映画祭に参加し、ドキュメンタリー・フィルム部の学術研究を行うグループもあり、山形県や県内自治体との連携協力により地域づくりの教育研究を行っている教員たちもいるというように、学部の柱のようなものがあります。いずれも、地域貢献を行いながら、学生も参加して行われているものです。

しかし、地域の文化や社会の創成に関わるこれらの人文学部ならではの教育研究はこれまであまり知られていなかったのではないのでしょうか。そこで、思い至ったのが、ナスカ研究所と同じように、研究所を作ろうということでした。研究所を作れば、人文社会科学系教員のもつパワーを結集し、地域社会への貢献もいっそう発展する、これが新たに研究所設置にいたった理由です。

ますます積極的に成果を出していきますから、保護者の皆様、市民の皆様には、これまで以上に人文学部に関心を持っていただけることと期待しております。

ナスカ研究所活動報告

人文学部附属ナスカ研究所副所長
坂井 正人

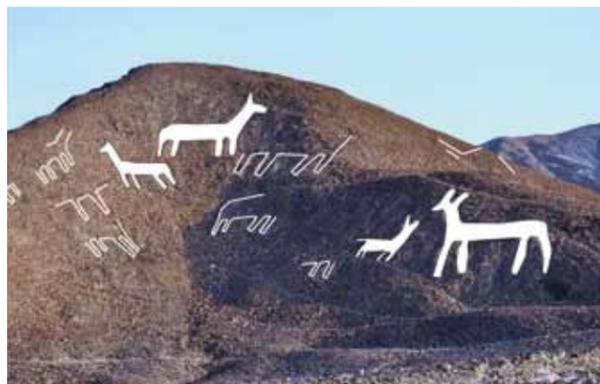


平成26年度のナスカ研究所の活動は以下の通りです。

- (1) 昨年度の調査で発見した少なくとも17頭のラクダ科動物だと思われる地上絵について、5月8日に記者会見を行いました。これらはパラカス後期(紀元前400～紀元前200年頃)に制作されたと考えられます。
- (2) ナスカ研究を中心とする「アンデス比較文明論」(平成26年～30年)が、新学術領域研究(研究領域提案型)に7月に採択されました。これは「古代アメリカの比較文明論」の一部として実施され、人文学部の8名の研究者が研究代表者、研究分担者として参加しています。
- (3) ナスカでの現地調査を8月～9月および12月～2月に実施しました。ナスカ台地における地上絵調査、インヘニオ谷における考古遺跡の調査、地理学・認知心理学的な研究・調査を実施しました。
- (4) ナスカ研究所付の助教として山本睦さんが10月に赴任されました。ナスカでの調査と生活について、人文学部のホームページにある「ナスカ・ブログ」で報告されています。
- (5) 文部科学省で「世界遺産ナスカの地上絵に関する学術研究と保護活動」と題した展覧会を12月～3月に実施しました。
- (6) 2つの国際シンポジウムを国立民族学博物館と共同で開催しました。2月11日にはLa producción de los espacios rituales en las regiones de la zona sur de los Andes。(キャンパスイノベーションセンター東京)、2月14日にはTIWANAKU: Transformaciones y continuidades sociales en la formación del Estado Primario。(国立民族学博物館)です。
- (7) 国際交流基金から助成を受けて、ペルーから研究者を招聘しました。そして「公開フォーラム」世界文化遺産「ナスカの地上絵」の研究と

保護をめぐる国際協力(3月19日・国立民族学博物館)、<公開講演会>地上絵とミイラ:ナスカにおける学術調査と遺跡保護(3月22日・山形大学)を国立民族学博物館と共同で開催しました。また<研究者会議>を3月15日(キャンパスイノベーションセンター東京)、3月17・18日(東亜大学)で行うとともに、3月23・24日には第2回<ナスカ円卓会議>を山形大学で実施しました。

(8) これまでの共同研究の成果を2冊の学術図書に執筆しました。『文明の盛衰と環境変動』(岩波書店)、『マヤ・アンデス・琉球: 環境考古学で読み解く「敗者の文明」』(朝日新聞出版)。



新発見のラクダ科動物の地上絵(画像加工あり)
©山形大学人文学部附属ナスカ研究所

映像文化の文明開化に ～映像文化研究所設立にあたって

人文学部附属映像文化研究所所長
元木 幸一



「映像文化とは何か?」「絵画も含めるのか?文学は?」「いや、それなら表象文化というべきではないか?」などなど。本研究所最初の会議は、根本的な議論から始まった。青臭く、面倒だが、面白い議論だったと思う。議論するうちに徐々にはっきりしてきた方向がいくつかある。

多分、この研究所を作る時に念頭にあったのは、山形国際ドキュメンタリー映画祭だけだった。ところが、山形の映像文化というテーマを考えると、実に豊かな可能性が広がっていくということに気づいた。

明治の山形は三島通庸という県令のおかげで(他県では鬼県令と言われたが)、東北における文明開化の先頭を切っていたらしい。その大きな成果は、鶴岡の致道博物館にある旧西田川郡役所や山形の旧済生館本館などの建築において偲ぶことができるのだが、実は、写真という映像

文化のジャンルでも進めることができる。

天童出身の菊地新学という写真家がいる。彼の写真のいくつかは、わが国における油絵の草分け、高橋由一の油絵や石版画の源泉になったことが分かっている。そして好都合なことに、由一の石版画も新学の複製写真(孫による)も山形大学附属博物館に所蔵されている。

これら明治初期の映像文化は、すでに先人たちの優れた研究により、かなり解明されてきているのだが、まだまだ隙間は残っている。映像文化研究所が、山形の文明開化を映像文化の視点から多面的に解明するという野望を抱いても良いのではないだろうか。

それに学生諸君も加われば、教育と研究の一体的な活動——まあ、現在はやりのアクティヴ・ラーニングとやらですな——を展開することも可能だろう。秋にオープンする博物館も巻き込んで…(勝手なことを言ってますみません)。

それと、もちろん今年開催される山形国際ドキュメンタリー映画祭へも関わることになるだろう。今回は台湾映画部門で人文学部から参加する。学生諸君に言いたい!映画祭の期間、山形は山形でなくなる。突然、国際的でお洒落な町に変貌する。だから駅から七日町にかけてのゾーンに是非足を踏み込もう。そして切符を買って、上映館に入り、ドキュメンタリー映画を見よう。ドキュメンタリーだって～といわなくていい。意外に面白い。それは現実を切りとった面白さなのだ。まずは見ることで参加しよう。

最後になったが、映画研究自体はもちろん、どんどん進めるのだ。大久保副所長どうぞよろしく。さあ、映像文化研究の文明開化がこれから始まる、とは言い過ぎかな。



菊地新学 山形県庁前写真複製

やまがた地域社会研究所 設立挨拶

人文学部附属やまがた地域社会研究所所長
國方 敬司



やまがた地域社会研究所は、2014年6月18日に、次のような背景と目的のもと設立されました。

少子・高齢化による人口減少社会の到来は、山形県の市町村に様々な課題を生じさせています。多くの自治体における税収の減少や商店街の衰退、交通弱者の増加や小中学校の統廃合による地域活力の減退など、その影響は多岐にわたり、その対応に多くの自治体で苦慮しているのが実情であります。

本学部は山形大学の中にあっても、地域社会を対象とする活動や研究が特に進んでいる学部であり、各自治体の抱える諸問題に適切な助言を行うことができる能力を有していると考えています。実際、本学部の教員は、それぞれの研究分野における専門研究に加えて、各自治体からの様々な審議会委員への就任要請や多種多様な調査の依頼のほか、山形大学東北創生研究所や地(知)の拠点整備事業などの地域関連の講義・研究等によって、多面的かつ多重的に地域社会との連携を深めています。しかしながら、それらはいずれも教員各自の努力に基づく個別の活動の枠内で完結しており、学部全体が有する能力の有効な連携に結びついてきていませんでした。

このような山形県の地域状況を背景として、当研究所は次のような目的に沿って設立されました。

① 地域社会を対象とする活動や研究が特に進んでいる学部として少子高齢化の問題に総合的に取り組み、地域課題を解決する学部として広く認知されることを目指す。

② 全学組織の地域関連事業に学部として対応していくための窓口となり、種々の要請に対応できる環境を作る。

③ 自治体や団体などが個別に抱える具体的な課題に対し総論的な理論提示に終わるだけでなく、調査研究を実施し問題点を解明する。また、課題解決とかがわって必要な活動を展開していく。

こうした目的に沿って「やまがた地域社会研究所」は多面的な活動を展開していきませんが、その活動の一環として、今年の1月16日に福井県立大学地域経済研究所長の丸屋豊二郎氏をお招きして「地方大学の地域貢献—私の経験から—」との演題のもと講演していただきました。さらに1月26日には、山形県副知事の細谷知行氏と同企画調整部企画調整課長の佐々木昭喜氏をお招きし、細谷氏から「挫折から…」、そして佐々木氏から「県政の課題について」お話しいただき、山形県を取り巻く現状について理解を深めました。こうした活動を一層加速させていただきますので、ご父兄のみならず学生のみならずにも応援いただければ幸いです。



講演会の様子

いま、一番気になることは何ですか？

人間文化学科



氏名 早坂正樹

コース・学年 言語コース 2年

出身校 東海大学山形高校 指導教員

サークル・ボランティア サッカー部

アルバイト 某スーパーで働いてます！

いま、一番気になることは何ですか？

言語コースに たくさんの後輩が
入ってきてくれるかどうか。
(特に少なくて寂しいので男の子...)



氏名 和賀留菜子

コース・学年 文化動態論コース
2年

出身校 泉館山高校 指導教員 坂井正人先生

サークル・ボランティア

アルバイト キャラクター雑貨系

いま、一番気になることは何ですか？

成人式後の同窓会で久しぶりに会った友人
と、当時一緒に遊ぶっていたゲームがまた
遊ぼうと約束しました。大学生になると昔をな
かしまがちとよく聞きますが、本当はなあ、と...
約束の日が楽しみです 😊



氏名 栗原美季

コース・学年 文化解釈・2年

出身校 山形中央 指導教員 石澤先生

サークル・ボランティア YUM!

アルバイト 塾講師・スポーツジム受付

いま、一番気になることは何ですか？

2月からはじまる（レ）に美術館展の
フェルメールの『天文学者』を
見るのが楽しみです！
今年もいろんな
美術館展に行きたい！！

学生の皆さんにお聞きしました。

法経政策学科



氏名 奥田紫水

コース 法律コース

出身校 山形東 セミ西岡ゼミ(刑法)

サークル・ボランティア IF(国際交流サークル)

アルバイト チューター(留学生のサポート業務)

いま、一番気になることは何ですか？

私は現在ゼミで交通犯罪について研究しています。規制される側、
する側その他あらゆる人の立場に立ち、法律の妥当性、方向性について
思考しています。物事を多角的に捉える視点を、サークルやチューター
業務、国際交流イベント等を通し、様々な人の考え方、価値観に触
れる事が身につけることができるよう励んでいます。



氏名 石井 考太

コース 経済・経営コース

出身校 仙台南 国際金融論演習
高等学校 (山口昌樹ゼミ)

サークル・ボランティア 復興支援団体
STARTI Tohoku

アルバイト 建設業のアルバイト

いま、一番気になることは何ですか？

学生時代、一番気にしていたことはゼミの勉強です。ゼミでは、国
際金融論を専攻しており、主に外国為替相場について勉強をしてい
ます。ゼミでは、外国為替相場はどのような要因で変動しているか、な
どを学習しますが、その中でも「課題に対し真摯に向き合う」
という点を特に心がけています。1つ1つの問題を提起に対し、丁寧
に解決しようとする姿勢を持ち、仲間と協力して取り組むことが、
当然のように思えます。これは勉強するということの本質にある
と私は考えます。人前で発表するにも、まずは自分自身と
理解し合おうとする。真摯に課題に向き合う姿勢が「前提
としない」としていきなりいきなりと考える。法経政策学科
には幅広い分野が授業となっており、多くのことに触れ、
自分の興味のあるところに「真摯に向き合う」進んでほしいと思います。



氏名 佐藤 鞠香

コース 公共政策コース

出身校 宮城県佐沼高校 セミ 地域政策論演習

サークル・ボランティア 食べあそびサークル「青いぶくろ」

アルバイト 生協食堂(テール)

いま、一番気になることは何ですか？

私は、地域政策論演習というゼミに所属しています。ゼミでは
先進事例調査として香川県にも行って、商店街の様子は取材組に
ついて学んで来た。実際に外に出てリアルな調査を行うので、地元の
名物や文化について、とても充実した時間を過ごすことができます。
今後は、今まで学んで来たことを生かせるような社会人を目指しています。

※学年は平成27年3月時点のものです。

※平成27年3月時点で3年生の皆さんです。

平成26年度 卒業生進路状況

平成27年2月28日現在

学科名		卒業 予定者数	進学 予定者数	その他	就職希望 者数(A)	就職内定者内訳				就職率 B/A
						企業	公務員	教員	計(B)	
人間文化学科	男	31	5	6	20	12	5	1	18	90.0%
	女	89	5	3	81	55	15	1	71	87.7%
	小計	120	10	9	101	67	20	2	89	88.1%
法経政策学科	男	121	2	11	108	63	35	0	98	90.7%
	女	74	0	3	71	40	23	0	63	88.7%
	小計	195	2	14	179	103	58	0	161	89.9%
合計	男	152	7	17	128	75	40	1	116	90.6%
	女	163	5	6	152	95	38	1	134	88.2%
	計	315	12	23	280	170	78	2	250	89.3%

平成26年度卒業生就職・進学一覧

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
建設業	0	1	7	1
セキスイハイム東北			1	
ユアテック				1
安藤組		1		
一条工務店			1	
国際通信企画			1	
升川建設			1	
新晃工業			1	
東日本電気エンジニアリング			1	
北海紙管			1	
製造業	1	3	7	1
TPR工業		1		
アイジー工業			1	
トヨタ自動車東日本			1	
ニク			1	
パソニックシステムネットワークシステムソリューションズジャパン			1	
ムネカタホールディングス			1	
リコージャパン				1
山形E-G			1	
山形航空電子		1		
小野薬品工業		1		
大阪シーリング印刷			1	
第一精工	1			
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	1	0
東北電力			1	
情報通信業	2	9	4	6
NTT東日本				1
Wizi	1			
アドウェイズ		1		
エクナレック		1		
キステム			1	
ザワークス		1		
サンリキュー				1
シミュレーション		1		
ステック				1
ティーゲルネットワーク				1
ピクシブ		1		
ポニーキャニオン	1			
ユニアデックス		1		
リスベクト		2		
山形コミュニティ新聞				1
山形テレビ				1

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
新潟日報社			1	
総合広告社		1		
日本経済新聞			1	
福島民友新聞			1	
運輸業・郵便業	0	5	2	3
東日本旅客鉄道(JR東日本)			2	3
ヤマト運輸		2		
新潟運輸送		1		
日本郵便		2		
卸売業・小売業	1	8	10	4
イオンスーパーセンター		1		
うすい百貨店		1		
エネサンス東北		1		
カメイ			1	
コマツ山形			1	
サモス			1	
スズキ自販山形	1			
テレマーカー			1	
ネッツトヨタ山形				1
ホシザキ東北		1		
ヤマザワ			1	
ヨークベニマル			1	
遠藤商事		1	1	
京王ズコムニケーション				1
山形スバル				1
青葉化成			1	
大興電子通信		1		
辰巳屋興業			1	
中				1
東京貿易機械			1	
東日本フー		1		
矢崎総業		1		
金融業・保険業	3	10	17	14
オリエンコーポレーション		1		
きらやか銀行	1			1
みちのく銀行				2
りそな銀行				1
三井住友銀行				1
三井住友信託銀行				1
山形銀行		3	5	1
秋田銀行	1	1		1
仙台銀行				1

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
千葉銀行			1	
荘内銀行	1	1	2	
東邦銀行			1	
八十二銀行				1
北海道銀行				1
北日本銀行				1
森の都信用金庫			1	
第一商品			1	
日本政策金融公庫		1		
農林中央金庫			2	
みずほ証券				1
山形証券			1	
野村証券				1
あいおいニッセイ同和損害保険		1		
三井住友海上火災保険				1
損害保険ジャパン日本興亜		1		1
日本生命保険		1		
明治安田生命保険			1	
不動産・物品賃貸業	0	3	1	0
アットオフィス			1	
インテリックス		1		
マスターマインド新潟		1		
東日本興業		1		
学術研究・専門・技術サービス業	0	0	0	2
マイスター会計センター				1
税理士法人あさひ会計				1
生活関連サービス業・広告代理・娯楽業	2	8	2	2
JTB国内旅行企画				1
JTB東北		1		
クイック			1	
シェイプアップハウス		1		
そば処庄司屋		1		
ダイナム	1	1		
ダイヤモンドダイニング		1		
亀や				1
宮崎商店	1			
進研アド		2		
創作和食粋酔			1	
日本旅行東北		1		
教育・学習支援業	1	1	2	1
国立大学法人山形大学		1	2	1
明光義塾	1			
医療・福祉・社会保険業	0	0	4	2
J A 秋田厚生連			1	1
公益財団法人地域医療振興協会				1
若杉内科医院				1
日本年金機構			2	
複合サービス	1	2	3	1
J A こまち				1
J A さがえ西村山			1	
J A 会津みどり		1		
J A 山形	1			
J A 山形おきたま			1	
みやぎ生活協同組合			1	
大学生活協同組合東北事業連合		1		
サービス業(他に分類されないもの)	0	5	2	2
エイジェック		1		
キャノンシステムアンドサポート			1	
テルウェル東日本				1
ネクセリア東日本		1		
マイナビ		1		1

業種／就職先・進学先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
参議院議員桜井充事務所			1	
山形県商工会連合会			1	
山形県信用保証協会				1
国家公務員	1	4	9	9
宮城労働局			1	
検察事務官				1
国税専門官				1
裁判所事務官				1
労働基準監督官				1
経済産業省一般職				1
国土交通省東北地方整備局		1		2
山形地方検察庁				1
仙台国税局				2
仙台法務局				3
総務省東北総合通信局				1
東北財務局		2		2
海上自衛隊	1			
陸上自衛隊		1		
林野庁東北森林管理局				1
地方公務員	4	11	26	14
茨城県職員				1
宮城県職員		2		3
山形県職員				5
新潟県職員				1
青森県職員				1
栃木県職員				1
福島県職員				1
墨田区役所				1
横須賀市役所	1			
寒河江市役所	1	1		
喜多方市役所		1		
気仙沼市役所				1
栗原市役所				1
山形市役所		1	2	2
室蘭市役所				1
酒田市役所				1
新庄市役所				1
仙台市役所		1	2	1
村山市役所				1
長井市役所				1
天童市役所				2
栃木市役所		1		
福島市役所	1			1
高島町役場		2		
三川町役場				1
村田町役場		1		
大江町役場	1			
中山町役場		1		
宮城県警察				2
秋田県警察				1
神奈川県警察				1
教員	1	1	0	0
山形県教員(中学校・国語)	1			
東京成徳大学深谷高等学校(地歴)		1		
その他	1	0	1	1
進学	3	5	2	0
東北大学法科大学院				1
宮城教育大学教職大学院	1			
山形大学大学院社会文化システム研究科	2	5		
神戸大学大学院経済学研究科				1

これらの数値は平成27年2月28日現在のものです。

学びの広場

人文学部では、市民のみならずにもご参加いただける講演会など様々な活動を行っています。掲載している内容は多様な活動の一部です。興味を持った方はぜひ人文学部ホームページまたはfacebookページをご覧ください。

< 公開講座の予定 >

◇前期公開講座

人間文化学科

世界遺産ナスカの地上絵: 学際的アプローチの成果と展開

日程／平成27年6月1日(月)・4日(木)・8日(月)・
11日(木)・15日(月)



昨年度の様子

人文学部では、平成16年度からユネスコの世界遺産に登録されているナスカの地上絵に関する共同研究を実施しています。文化人類学、認知心理学、情報科学、地理学、考古学などの様々な分野の専門家が協力して、学際的な研究を実施しています。

この講座では、こうした学際的な研究の成果を、それぞれの研究者が自らの体験や分析結果にもとづいて、分かりやすい言葉で語ります。

◇後期公開講座

法経政策学科

地域を学び、地域を考える(仮称)

日程／平成27年9月～10月の5日間
(曜日未定)



昨年度の様子

地方分権や市町村合併の進展などにより市町村の役割が拡大する一方、厳しい地方財政、少子高齢化の進展など地域課題が深刻化しています。そこで、今年度は、「地域」をキーワードに、様々な側面から地域における暮らしや産業を検討し、学び、考えていきます。たとえば、環境、交通、歴史、町おこしなどをテーマに公開講座を行う予定です。

第42回模擬裁判公演について

模擬裁判実行委員会 42代委員長

法経政策学科4年 鈴木利規

模擬裁判実行委員会では、毎年裁判を模した演劇を行っています。人文学部の学生を中心に82名が所属し、公演に向けた「すべて」の活動を組織の学生のみで行っています。

今回の裁判劇のテーマは「いじめ」でした。実際に教育現場の最前線で活躍する教育関係者などへの取材や、いじめの現状や背景を捉えるべく勉強会を何度も重ね、いじめ問題の本質に迫りました。

そして迎えた12月の公演では、県内4万部に及ぶチラシ配布や関係各方面を巻き込んだ広報活動の甲斐もあり、歴代最多の513名もの皆様にご来場頂き、反響の大きさに嬉しく思っている所です。



全員で記念撮影パチリ!

< 人文ニュース >



講演される牧原先生

人文学部学術講演会を開催しました。

2014年11月28日(金)、東京大学先端科学技術研究センター教授の牧原出先生をお迎えし、人文学部学術講演会が開かれました。

行政学が専門の牧原先生は、『三大震災の『震災誌』と『復興誌』:記憶をどう記録するか?』と題し、情報技術の急速な発

展をめぐる利点と欠点についてお話しされました。

震災復興への貢献は山形大学の重要な使命ともなっており、会場は学生や教職員などの聴講者で満員となりました。講演終了後には、複数の学生と牧原先生の間で活発な質疑応答も行われ、大変意義深い講演会となりました。

人文学部の3名が平成26年度学生表彰と奨励表彰を受賞しました。

山形大学では、毎年学術研究や課外活動等で優れた功績を挙げた学生に「学生表彰(学長表彰)」、「奨励表彰(教育担当副学長表彰)」を授与しています。

このたび、平成26年度学生表彰を人文学部人間文化学科の太田浩二郎さん(全学受賞者9名)、奨励表彰を人文学部人間文化学科の歌重義さんと高橋海輝さん(全学受賞者17名)が受賞しました。受賞理由は以下の通りです。

【学生表彰】

☆人間文化学科 太田浩二郎さん

〈表彰理由〉シンガポールで開催された世界学生フロアボール選手権大会において、日本代表として出場。

【奨励表彰】

☆人間文化学科 歌 重義さん

〈表彰理由〉ボランティアとして東日本大震災による水損資料のクリーニングを実施。

☆人間文化学科 高橋海輝さん

〈表彰理由〉ボランティア活動「森の休日」に参加し、東日本大震災で被災した福島県のご家族の週末保養を実施。



学生表彰された太田さんと元木副学部長(左)、指導教員の菊地教授(右)

人文ニュース 47巻1号

○発行/山形大学人文学部 ○編集/人文学部広報委員会 ○発行日/平成27年4月1日
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 電話023-628-4203(人文学部事務室)
http://www-h.yamagata-u.ac.jp/faculty/agora.html E-mail:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※本学部の最新情報については、ホームページをご覧ください。http://www-h.yamagata-u.ac.jp
※昨年度で退職・転出した教職員、今年度の新任教職員のご挨拶は順次ホームページに掲載する予定です。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。